



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年8月14日

上場会社名 株式会社デルソーレ 上場取引所 東
コード番号 2876 URL <https://www.del-sole.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大河原 泰
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 印部 修一 (TEL) 03(6736)5678
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,581	13.8	412	154.5	420	90.6	271	94.3
2023年3月期第1四半期	4,026	10.0	162	△8.1	220	△21.6	139	△27.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	30.53	—
2023年3月期第1四半期	15.36	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	11,099	6,277	56.6
2023年3月期	11,029	6,081	55.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 6,277百万円 2023年3月期 6,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	3.6	800	91.5	800	55.0	480	58.4	53.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	9,105,290株	2023年3月期	9,105,290株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	200,192株	2023年3月期	200,192株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	8,905,098株	2023年3月期1Q	9,105,098株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の詳細に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(持分法損益等)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（以下「当第1四半期」という。）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が限定的となり正常化に向けて進み始めました。一方で、原材料・資源価格の高騰、円安進行による物価上昇や不安定な国際情勢の長期化等、依然として予断を許さない状況が続いております。

食品・外食業界におきましては、節約志向が根強い市場環境の下で、原材料価格に加え、人件費、物流費、光熱費等の高騰により収益の圧迫が続いております。こうした諸コストのさらなる上昇も見込まれている中、経営環境は厳しさを増しており、先行きの不透明感も高まっております。

このような経営環境の中で、当社は2023年度(2024年3月期)から2026年度(2027年3月期)までの事業運営に関する「中期経営計画2026」を策定し、経営理念である「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供すること」を一貫して追い求め、「食の安全・安心」を第一に掲げて、「“おいしい”で世界をつなぐ」をミッションに、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期の売上高は4,581百万円（前年同四半期比13.8%増）、営業利益は412百万円（同154.5%増）、経常利益は420百万円（同90.6%増）、四半期純利益は271百万円（同94.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

食品事業

食品事業におきましては、食品スーパー、生協等の小売市場における急速な価格転嫁により消費者の生活防衛意識が高まり、家庭用分野では食料品の買い控えといった現象が顕著に現れております。一方で、新型コロナウイルス感染症の「5類移行」による経済活動の正常化に伴い、主要販売先である外食業界を含む業務用分野では回復の動きが見られております。

このような状況の中、スーパー惣菜・ベーカリー市場の強化、家庭用冷凍ピザの新商品発売等、積極的に家庭用市場の開拓を進めるとともに、コロナ渦により希薄になりがちであった取引先との関係強化、新規販路の獲得に努めてまいりました。来年(2024年)の創業60周年を記念して、これまで培った技術やノウハウを結集して開発した本格冷凍ピザ「THE PIZZA」2品を発売しました。また、当社の主力商品であるトルティーヤ、ピタパンを活用した、時短向上と食品ロス削減に資する「#おうちロスプロジェクト」を開始し、レシピ動画サイトやYouTubeを通じても発信いたしました。

海外ビジネスについては、北欧リトアニアの海外パートナー企業との連携を深めヨーロッパの本格的な冷凍パンの販売を強化するとともに、アメリカ産冷凍チーズの販売も積極的に推進しております。また輸出については海外からの引き合いも増加しており、円安を追い風に取引を加速させ、今後は当事業の重要な柱として育成してまいります。

販売管理面では、売上規模に見合った在庫水準の適正化や、物流効率化の取り組み等を引き続き進めております。

この結果、当第1四半期の売上高は3,836百万円（前年同四半期比14.1%増）、セグメント利益は580百万円（同67.7%増）となりました。

外食事業

外食事業におきましては、オフィス立地の集客が回復しつつある一方で、原材料価格の高騰に加え、人手不足による採用コストの増加やパート時給の上昇等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は引き続き食材ロス低減の取り組み、人員配置の最適化や在庫管理、家賃の減免等、徹底したコストコントロールを実施するとともに、テイクアウトブランドの新規出店と不採算店舗の整理による収益改善に引き続き注力してまいりました。

「京鳥」（焼き鳥・鶏総菜）「おめで鯛焼き本舗」を当社における成長ドライバーとして位置づけ、4月に「京鳥グランデュオ蒲田店」、「おめで鯛焼き本舗イオンモール豊川店」、「おめで鯛焼き本舗アリオ上尾店」、「おめで鯛焼き本舗天王寺MI0店」を出店しました。

一方、早期業績回復を目的とした不採算店舗の閉店を積極的に進め、居酒屋・レストラン業態の「燦鶏」3店舗、「をどり」1店舗、「牛傳」1店舗、「ポポラマーマ」1店舗の計6店舗を閉店しました。

この結果、当第1四半期の売上高は749百万円（前年同四半期比12.0%増）、セグメント利益は7百万円（同77.0

%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末(以下「当第1四半期末」という。)における総資産は、前事業年度末(以下「前期末」という。)から70百万円増加し、11,099百万円となりました。流動資産合計は、売掛金が358百万円、商品及び製品が102百万円それぞれ増加したこと等により、409百万円増加し6,414百万円となりました。固定資産合計は、有形固定資産合計が40百万円、投資その他の資産合計が297百万円それぞれ減少したこと等により、339百万円減少し4,685百万円となりました。

(負債の部)

当第1四半期末における負債合計は、前期末から125百万円減少し、4,822百万円となりました。流動負債合計は、短期借入金が400百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が145百万円、役員退職慰労引当金が405百万円それぞれ減少したこと等により、119百万円減少し3,454百万円となりました。固定負債合計は、長期借入金が15百万円減少したこと等により、6百万円減少し1,367百万円となりました。

(純資産の部)

当第1四半期末における純資産は、前期末から196百万円増加し、6,277百万円となりました。配当金の支払いによる89百万円の減少の一方で、四半期純利益271百万円により、利益剰余金は182百万円増加しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績を踏まえ、2023年5月15日に公表した2024年3月期の通期業績予想につきまして、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

2024年3月期通期業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,100	180	200	120	13.48
今回修正予想(B)	17,500	800	800	480	53.90
増減額(B-A)	400	620	600	360	—
増減率(%)	2.3	344.4	300.0	300.0	—
(参考)前期実績	16,893	417	515	302	33.74
(参考)前期増減率(%)	3.6	91.5	55.0	58.4	—

(修正の理由)

当第1四半期累計期間におきましては、食品事業において外食需要の回復や家庭用市場の積極的な開拓、外食事業においてもオフィス立地店舗の集客の回復等を背景に、売上高は前年同期を上回る基調となりました。営業利益については、食品事業において価格改定効果に加え、主要販売先である業務用分野が好調に推移していることから、生産効率の向上等による原価低減が着実に進んでおり、当初予想を大きく上回る結果となりました。今後の原材料価格や消費動向等は不透明ではありますが、現在の事業環境を踏まえ、2024年3月期の業績予想を上記のとおり修正いたしました。

(注) 上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,649,350	1,534,456
売掛金	2,702,163	3,060,880
商品及び製品	973,340	1,075,843
原材料及び貯蔵品	506,657	545,997
その他	174,035	197,699
流動資産合計	6,005,546	6,414,877
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,480,127	4,482,241
減価償却累計額	△3,209,035	△3,190,079
建物(純額)	1,271,091	1,292,162
機械及び装置	3,502,874	3,505,764
減価償却累計額	△2,146,568	△2,206,190
機械及び装置(純額)	1,356,305	1,299,573
その他	1,440,271	1,436,055
減価償却累計額	△493,923	△494,263
その他(純額)	946,348	941,791
有形固定資産合計	3,573,746	3,533,527
無形固定資産	10,106	8,984
投資その他の資産		
その他	1,441,508	1,143,744
貸倒引当金	△1,250	△1,250
投資その他の資産合計	1,440,258	1,142,494
固定資産合計	5,024,111	4,685,007
資産合計	11,029,657	11,099,885
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,088,181	1,943,153
短期借入金	-	400,000
1年内返済予定の長期借入金	260,000	260,000
未払法人税等	42,711	25,910
賞与引当金	141,355	53,633
役員退職慰労引当金	405,048	-
資産除去債務	102,599	83,989
その他	534,456	687,961
流動負債合計	3,574,351	3,454,647
固定負債		
長期借入金	210,000	195,000
退職給付引当金	530,476	529,841
役員退職慰労引当金	220,094	225,181
資産除去債務	375,488	379,950
その他	37,442	37,442
固定負債合計	1,373,502	1,367,416
負債合計	4,947,853	4,822,063

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	922,939	922,939
資本剰余金	1,259,205	1,259,205
利益剰余金	3,965,977	4,148,779
自己株式	△87,436	△87,436
株主資本合計	6,060,685	6,243,487
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,118	34,333
評価・換算差額等合計	21,118	34,333
純資産合計	6,081,804	6,277,821
負債純資産合計	11,029,657	11,099,885

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,026,059	4,581,578
売上原価	2,434,404	2,730,689
売上総利益	1,591,655	1,850,888
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	404,056	390,173
賞与引当金繰入額	36,423	35,937
退職給付費用	11,345	8,554
役員退職慰労引当金繰入額	9,400	10,039
荷造運搬費	352,297	333,620
その他	616,091	660,136
販売費及び一般管理費合計	1,429,614	1,438,462
営業利益	162,040	412,425
営業外収益		
受取利息	-	2
受取配当金	15,634	8,824
受取手数料	201	207
受取賃貸料	684	180
助成金収入	41,754	-
その他	2,901	3,211
営業外収益合計	61,176	12,425
営業外費用		
支払利息	1,023	1,102
支払保証料	1,698	1,698
保険解約損	-	1,764
その他	98	182
営業外費用合計	2,820	4,746
経常利益	220,395	420,104
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	12,710
特別損失合計	-	12,710
税引前四半期純利益	220,395	407,394
法人税、住民税及び事業税	9,804	8,588
法人税等調整額	70,712	126,953
法人税等合計	80,516	135,541
四半期純利益	139,879	271,852

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
関連会社に対する投資の金額	－千円	－千円
持分法を適用した場合の投資の金額	－千円	－千円
	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
持分法を適用した場合の投資利益の金額	2,007千円	－千円

(注) 関連会社でありました株式会社元町珈琲の株式について、2022年11月に当社が保有する全株式を売却したため、同社は関連会社ではなくなっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品事業	外食事業	
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	3,357,367	662,001	4,019,368
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	6,690	6,690
顧客との契約から生じる収益	3,357,367	668,692	4,026,059
外部顧客への売上高	3,357,367	668,692	4,026,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,520	—	3,520
計	3,360,887	668,692	4,029,579
セグメント利益	345,891	31,305	377,197

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	377,197
全社費用(注)	△156,811
棚卸資産の調整額	9
四半期損益計算書の税引前四半期純利益	220,395

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	食品事業	外食事業	
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	3,832,388	743,025	4,575,413
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	6,164	6,164
顧客との契約から生じる収益	3,832,388	749,189	4,581,578
外部顧客への売上高	3,832,388	749,189	4,581,578
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,741	—	3,741
計	3,836,129	749,189	4,585,319
セグメント利益	580,199	7,188	587,387

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	587,387
全社費用（注）	△179,963
棚卸資産の調整額	△29
四半期損益計算書の税引前四半期純利益	407,394

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。